

第 52 期 決 算 公 告

東京都港区東新橋1-5-2
全日空商事株式会社
代表取締役社長 國分 裕之

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	27,897	流動負債	20,602
現金及び預金	1,197	買掛金	6,198
受取手形	97	短期借入金	5,541
売掛金	4,371	一年内返済長期借入金	260
未収金	2,043	リース債務	1,742
割賦未収金	809	未払金	4,764
リース投資資産	6,989	連結納税未払金	417
商品	2,562	未払費用	88
短期貸付金	6,786	未払法人税等	158
前払金	1,134	前受金	917
立替金	226	預り金	4
前払費用	157	前受収益	506
有償支給取引に係る資産	1,507	賞与引当金	0
その他	67	その他	1
貸倒引当金	△52	固定負債	5,187
固定資産	17,189	長期借入金	260
有形固定資産	467	リース債務	3,026
社用資産	170	長期預り金	350
建物	54	長期前受収益	0
車両運搬具	0	退職給付引当金	1,007
工具器具及び備品	67	役員退職慰労引当金	102
土地	15	繰延税金負債	440
建設仮勘定	0		
リース資産	32		
賃貸資産	296		
賃貸用車両運搬具	36		
賃貸用工具器具備品	260		
無形固定資産	559		
電話加入権	10		
ソフトウェア	466		
ソフトウェア仮勘定	82		
その他	0		
投資その他の資産	16,162		
投資有価証券	5,578		
関係会社株式	7,146		
出資金	156		
長期貸付金	3,356		
差入保証金	13		
長期前払費用	4		
前払年金費用	283		
貸倒引当金	△377		
資産合計	45,087		
		負債合計	25,789
		純資産の部	
		株主資本	16,156
		資本金	1,000
		利益剰余金	15,156
		利益準備金	250
		その他利益剰余金	14,906
		別途積立金	3,400
		繰越利益剰余金	11,506
		評価・換算差額等	3,140
		その他有価証券評価差額金	3,129
		繰延ヘッジ損益	11
		純資産合計	19,297
		負債・純資産合計	45,087

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		35,593
売上原価		27,165
売上総利益		8,427
販売費及び一般管理費		5,927
営業利益		2,500
営業外収益		
受取利息及び配当金	102	
貸倒引当金戻入額	42	
雇用調整助成金	65	
その他	8	218
営業外費用		
支払利息	8	
為替差損	113	
その他	17	139
経常利益		2,578
税引前当期純利益		2,578
法人税、住民税及び事業税	629	
法人税等調整額	△19	610
当期純利益		1,968

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社及び関連会社株式・・・・・・・・移動平均法による原価法

その他有価証券

・市場価格のない株式等以外のもの・・・・時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・市場価格のない株式等・・・・・・・・移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・・・・・・移動平均法による原価法（但し、輸出入物販業は個別法による原価法）

なお、収益性が低下した棚卸資産については、貸借対照表価額を切り下げております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産・・・・・・・・定率法（但し、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び2016年4月1日以降取得の建物附属設備については定額法）

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 3年～60年

車両運搬具 6年

工具器具及び備品 2年～20年

② 無形固定資産・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

自社利用のソフトウェア 5年

③ 賃貸資産・・・・・・・・リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の見積処分価額を残存価額とする定額法

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金・・・・・・・・売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金・・・・・・・・従業員への賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

③ 退職給付引当金

（又は前払年金費用）・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による定額法により費用処理しております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。なお、当事業年度末では、年金資産の合計額が退職給付債務から未認識数理計算上の差異を控除した金額を超過しているため、当該超過額を前払年金費用（投資その他の資産）に計上しております。

④ 役員退職慰労引当金・・・・・・・・役員及び執行役員への退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末日の支給見積額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

航空関連資材の輸出入及びインターネットショッピング等から得られる収入について、主に顧客への物品の引き渡しにより履行義務を充足し、履行義務の充足時に収益を認識しております。

また、顧客への商品の販売における当社の役割が代理人として行われる取引については、当該対価の総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。有償受給取引については、原材料の仕入価格を控除した純額で収益を認識する方法によっており、有償支給取引については、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法によっております。

- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
- ① リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る会計処理によっております。
 - ② ヘッジ会計の方法
原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、為替予約等が付されている外貨建金銭債権債務については、振当処理を行っております。
 - ③ 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、当事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
 - ④ 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。
 - ⑤ 割賦販売契約に基づくリース取引は延払基準を採用しております。
 - ⑥ 連結納税制度の適用
ANAホールディングス株式会社を連結親法人とする連結納税制度を適用しております。
 - ⑦ 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用
当社は「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

【貸借対照表に関する注記】

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	616百万円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	8,029百万円
長期金銭債権	3,003百万円
短期金銭債務	6,814百万円
長期金銭債務	260百万円

【税効果会計に関する注記】

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
投資有価証券評価損	355百万円
退職給付引当金超過額	308百万円
貸倒引当金超過額	121百万円
繰越欠損金	157百万円
棚卸資産評価損	39百万円
ゴルフ会員権評価損	38百万円
役員退職慰労引当金超過額	31百万円
その他	72百万円
繰延税金資産小計	1,123百万円
評価性引当額	△510百万円
繰延税金資産合計	613百万円
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	△961百万円
退職給付引当(年金)超過額	△86百万円
その他	△5百万円
繰延税金負債合計	△1,053百万円
繰延税金負債の純額	△440百万円

【関連当事者との取引に関する注記】

(1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	ANAホールディングス(株)	東京都港区	467,601	グループ経営戦略策定、経営管理業務等	(被所有)直接100.00%	有	資金の貸付等における取引	資金の借入	650	一年内返済長期借入金	260
										長期借入金	260
								資金の貸付	6,141	短期貸付金	6,566
								連結納税未払金	417	連結納税未払金	417

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ①貸付金及び借入金については、市場金利を勘案し利率を合理的に決定しております。
- ②ANAグループにおける資金の貸付等による取引であり、取引金額は期中の平均残高を記載しております。

(2) 子会社等

種類	会社等の名称	住所	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
子会社	ANAフーズ(株)	東京都港区	323	青果物等の食品卸事業	(所有)直接100.00%	有	資金の借入等における取引	資金の借入	2,985	短期借入金	2,410
子会社	ANA FESTA(株)	東京都大田区	50	食料品・雑貨等の販売及び喫茶業	(所有)直接100.00%	有	資金の借入等における取引	資金の貸付 店舗設備のリース	1,950 3	長期貸付金 割賦未収金	2,634 698
子会社	インターナショナル・カーゴ・サービス(株)	東京都大田区	30	通関代行及び物流事業	(所有)直接70.00%	有	資金の借入における取引	資金の借入	923	短期借入金	924
子会社	全日空商事デューティーフリー(株)	千葉県成田市	100	免税品の販売業	(所有)直接100.00%	有	資金の借入における取引	資金の借入	831	短期借入金	807
子会社	(株)藤二誠	山梨県甲府市	310	食料品・雑貨等の販売業	(所有)直接99.00%	有	資金の借入における取引	資金の借入	1,193	短期借入金	1,379

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ①価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。
- ②貸付金及び借入金については、市場金利を勘案し利率を合理的に決定しております。
- ③全日空商事グループにおける資金の借入等による取引であり、取引金額は期中の平均残高を記載しております。

(3) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有 (被所有) 割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の 兼任等	事業上の 関係				
親会社 の 子会社	全日本空輸 (株)	東京都 港区	25,000	航空運送事 業	なし	有	航空機部品 事業等にお ける取引	航空機部品 の調達及び 修理の受託 航空関連車 輛等のリース 等	7,876	売掛金 未収金 リース投資 資産	763 965 1,062
親会社 の 子会社	(株)ANAケー タ リングサー ビス	東京都 大田区	100	機内食の製 造・調理及 び機内サー ビス用品の 搭載等	なし	なし	航空関連車 輛等におけ る取引	航空関連車 輛等のリース 等	97	リース投資 資産	2,135

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

①価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

【1株当たり情報に関する注記】

- (1) 1株当たりの純資産額 29,474円45銭
- (2) 1株当たりの当期純利益 3,007円22銭

【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。